

この政策の全文は127ページおよび州務長官のウェブサイト
voterguide.sos.ca.govに掲載されています。

- 特定の薬物の所持および\$950未満の窃盗(両方とも現在は軽罪としてのみ起訴可能)について、過去に薬物または窃盗で2回有罪判決を受けたことがある場合、重罪として起訴することができます。重罪である薬物所持の罪を認め、治療を完了した被告は起訴が却下される可能性があります。
- その他の特定の薬物および窃盗罪に対する刑罰を重くします。
- 懲役刑の延長により、現在精神衛生および薬物治療プログラム、K-12 学校、犯罪被害者にあてられている貯蓄が減少する可能性があります。残りの貯蓄は、新しい重罪治療プログラムに使用される場合があります。

州および地方自治体の純財政的影響に関する立法アナリストの見積概要:

- 州の刑事司法費用が増加し、主に刑務所収容者数の増加のために、年に数千万ドルから数億ドル前半に及ぶ可能性があります。
- 主に郡刑務所、地域社会での監視、裁判所が義務付けた精神衛生および薬物治療の作業負荷のために、地方の刑事司法費用が年に数千万ドル増加する可能性があります。

法律アナリストによる分析

背景

犯罪の深刻さと犯罪歴による処罰

重罪の処罰。重罪は最も深刻な種類の犯罪です。重罪に対しては、犯罪の内容や前科歴に応じて、郡刑務所または州刑務所に収監される可能性があります。場合によっては、刑務所や監獄での刑期の一部または全体を服役する代わりに、郡の保護観察官によって地域で監視されることもあります。これは郡地域監視と呼ばれます。刑期の長さは主に犯罪に依存します。例えば、殺人は15年以上の刑期を受ける可能性があります。対照的に、麻薬の販売は、麻薬に応じて、最大で5年の拘置所ま

たは刑務所の刑期を受ける可能性があります。犯罪の詳細によって刑期が延長されることもあります。例えば、特定の麻薬(フェンタニル、ヘロイン、コカイン、またはメタンフェタミンなど)の販売に対する刑期は、販売された量に応じて延長される可能性があります。

軽犯罪に対する処罰。軽犯罪は、より軽度な犯罪です。例えば、暴行や薬物所持が含まれます。人々は、軽罪に対して郡の拘置所、郡地域監視、および/または罰金を科される可能性があります。刑期は最大で1年の拘置所です。

法律アナリストによる分析

続き

提案47は一部の窃盗罪および薬物犯罪の処罰を軽減

2014年に、提案47は一部の窃盗罪および薬物犯罪を重罪から軽犯罪に変更しました。例えば、万引き(店舗から950ドル以下の商品を盗む行為)や薬物所持は、一般的に軽犯罪とされました。

提案

提案36は、窃盗および薬物犯罪に対する処罰に関するいくつかの重要な変更を行います。まず、一部の犯罪に対する処罰が増加します。次に、一部の薬物所持犯罪に対して治療に重点を置いた新しい裁判手続きを導入します。さらに、違法薬物を他人に販売または提供した罪で有罪となった者に対し、同様の行為を続けて他人が死亡した場合には、殺人罪で起訴される可能性があることを裁判所に通知することを義務付けます。

一部の窃盗および薬物犯罪に対する処罰の強化

提案36は、窃盗および薬物犯罪に対する処罰を以下の3つの方法で強化します：

- **一部の軽犯罪を重罪に変更。**例えば、現在、950ドル以下の物品の窃盗は一般的に軽犯罪とされています。提案36では、特定の窃盗犯罪(万引き、強盗、またはカージャックなど)で過去に2回以上の有罪判決を受けた者に対して、この犯罪を重罪とします。刑期は郡刑務所または州刑務所

で最大3年となります。これらの変更は、提案47による処罰軽減の一部を覆すものです。

- **一部の重罪の刑期を延長します。**例えば、提案36では、3人以上が共謀して窃盗や物品の損壊を行った場合、重罪の刑期が最大3年間延長されることを認めています。
- **一部の重罪は刑務所で服役することを義務付けます。**例えば、上記で述べたように、フェンタニル、ヘロイン、コカイン、またはメタンフェタミンなどの特定の薬物を販売した場合、その量に応じて刑期が延長されることがあります。現在、これらの刑期は、個人の犯罪歴に応じて郡刑務所または州刑務所で服役しています。提案36では、これらの刑期を原則として州刑務所で服役することを求めています。

一部の薬物所持犯罪に対して新しい裁判手続きを導入する

提案36では、違法薬物を所持した者が、場合によっては軽犯罪ではなく「治療義務付きの重罪」として起訴されることを認めています。具体的には、(1)フェンタニル、ヘロイン、コカイン、またはメタンフェタミンなどの特定の薬物を所持し、(2)過去に薬物所持や販売などの薬物犯罪で2回以上有罪判決を受けた者が対象となります。これらの人々は、一般的にメンタルヘルスや薬物治療などの治療を受けることになります。治療を終了した者は、起訴が取り下げられます。治療を完了しない者は、

法律アナリストによる分析

続き

最大で3年間の州刑務所での服役を科される可能性があります。この変更は、提案47での一部の処罰軽減を覆します。

麻薬の販売または提供に対する殺人罪の警告を要求する

提案36では、違法薬物を販売または提供して誰かを死亡させた場合、殺人罪で起訴される可能性があることを裁判所が警告することを義務付けています。この警告は、フェンタニル、ヘロイン、コカイン、メタンフェタミンなどの特定の薬物を販売または提供した罪で有罪判決を受けた者に対して行われます。これにより、後に違法薬物を販売または提供して誰かを死亡させた場合、殺人罪で有罪判決を受ける可能性が高まります。

財政的影響

提案36は、州および地方自治体にさまざまな財政的影響を及ぼすでしょう。これらの影響の大きさは、地方検察官がどのような判断を下すかといった不確定要素に依存します。

州の刑事司法費用の増加。提案36は、以下の2つの主要な方法で州の刑事司法費用を増加させます。

- **州刑務所の収容者数の増加。**現在、郡レベルで刑期を務めている一部の人が、州刑務所で刑期を務めることを義務付けます。また、一部の刑期を延長します。全体で、収容者数は数千人増加する可能性があります。(現在、約9万人が州刑務所に収容されています。)

- **州裁判所の業務量の増加。**これは、重罪は通常、軽犯罪よりも解決に時間がかかるためです。また、治療を義務付けられた重罪も裁判所の業務量を増加させます

全体として、提案36は、**州の刑事司法費用を年間で数千万ドルから数億ドルに増加させる可能性があります。**この金額は、州の合計の一般基金予算の0.5%未満です。(一般財源は、教育、医療、刑務所など、ほとんどの公共サービスの支払いに充てられます。)

地方の刑事司法費用の増加。提案36は、以下の2つの主要な方法で地方の刑事司法費用を増加させます。

- **郡の拘置所および地域監視人口の純増。**いくつかの面で、提案36は刑務所およびコミュニティ監督の人口を減少させるでしょう。これは、郡レベルではなく州刑務所に送られる人がいるためです。一方で、これが人口を増加させる面もあります。これは、一部の人が郡の拘置所または地域監視でより長い時間を過ごすためです。全体的に、提案36は郡レベルでの人口を増加させる可能性があります。この増加は数千人程度になる可能性があります。(現在、郡レベルで約25万人が収容されています。)
- **地方裁判所関連の業務量の増加。**地方検察官や公選弁護人の業務量も増加させるでしょう。これは、重罪は通常、軽犯罪よりも解決に時間がかかるためです。また、治療を義務付

法律アナリストによる分析

続き

けられた重罪は、保護観察や行動保健部門などの一部の郡機関に業務量を増加させます。

全体として、提案36は**地方の刑事司法費用を増加させるでしょう。その増加額は、毎年数千万ドルになる可能性があります。**

州が特定のサービスに支出する額の削減。提案47は、刑罰軽減による推定州の節約額を、メンタルヘルスおよび薬物治療、学校の不登校および中退防止、被害者サービスに費やすプロセスを作成しました。これらの推定節約額は昨年、総額\$9500万に達しました。提案36が提案47の一部を無効にすることで、提案47からの州の節約額が減少します。これにより、州がメンタルヘルスおよび薬物治療、学校の不登校および中退防止、被害者サービスに費やさなければならない金額が減少します。この減少額は年間で数千万ドル程度になる可能性があります。

その他の財政的影響。提案36は、州および地方政府に他の財政的影響を与える可能性があります。例えば、罰則の強化や治療の義務化によって犯罪が減少すれば、州および地方の刑事司法費用の一部を回避できるかもしれません。しかし、これらの影響やその他の影響が実際に発生するかどうかは不明です。

**主に、この政策を支持または反対するために作られた委員会のリストについては、
sos.ca.gov/campaign-lobbying/cal-access-resources/measure-contributions/2024-ballot-measure-contribution-totals
にアクセスしてください。**

**委員会上位10名の貢献者については、
fppc.ca.gov/transparency/top-contributors.html
にアクセスしてください。**